

2022年8月

自らを風にはづませ手毬花
ひしやげるは音のかたちよ麦の笛
乱鶯の三部合唱四部合唱
七つとは七羽のことで鳥の子
噴水は吹き出し笑ひしてをりぬ
予告編みたいなものか走り梅雨
幽閉の結果としての黴の靴
畳一枚あれば無欲の三尺寝
軽口は叩くものなり甚平着て
聞き役に徹して了る端居かな